

宇田川ゆきおのライフワーク、『想い』が『かたち』に! 子育て・子ども・若者支援が前進しました。

子育て世代真っ盛りの宇田川ゆきおは、その世代の問題意識を実感し、皆様と共有する県議会議員として、課題解決への政策提言を活発に行ってきました。今回、それらが基本条例や計画、施策としてかたちになったのでご紹介します。

埼玉県こども・若者基本条例が成立 (自民党県議団が 主導し、議員提案)

宇田川ゆきお県議がかねてからライフワークとして推進し、自民党県議団の仲間と進めてきた『こども・若者』に対する支援について、また一つ『想い』が『かたち』になりました。

国においても、こども家庭庁の設置やこども基本法の施行など、こども・若者の成長を後押しする機運が高まっています。この機会を逃すことなく、こども・若者目線でかつ社会全体でこども・若者の成長及び子育てを支える重要性を広く呼び掛けるとともに、これまでの施策を横断

「埼玉県こども・若者計画」が策定されました

「埼玉県子育て応援行動計画」と「埼玉県青少年健全育成・支援プラン」を統合して「埼玉県こども・若者計画」が策定されました。これは、これまでの両計画を一体的なものとして作成することにより、県のこども施策から若者施策まで全体に横串を刺すことで有機的な連携により実行性を持たせ、県民の皆様に一層分かりやすいものとなることを目的としています。「埼玉県こども・若者計画」は12の計画から構成されています。

母子保健DXの推進

宇田川ゆきお県議が、小倉将信(元内閣特命担当大臣)こども家庭庁初代大臣とコミュニケーションを取りながら進めてきた「母子保健DX」についても動きはじめました。

紙の問診票を利用して実施している現在の母子保健事業(妊婦検診、乳幼児健診等)について、自治体システムの標準化のスケジュールを踏まえて、令和9年度予定を目標にデジタル化を図るもので



小倉将信(元内閣特命担当大臣)
こども家庭庁初代大臣と

担当大臣と意見を交換し、進めてきた 施策がかたちに…

【将来的イメージ】

問診票をスマートフォン (電子版母子健康手帳等) で入力可能に	マイナンバーカード1枚で 検診を受診可能に	診断結果をスマートフォン (電子版母子健康手帳等) でいつでも確認可能
●住所や氏名などの情報 は自動で入力	●紙の受診券への住所や 氏名などの記載が不要に	●健診情報を自身の健康 管理や次回の妊娠等に有 効活用
●問診結果はオンラインで 医師等と共に	●紙の受診券を管理・提出 する手間が不要に	●健診結果を医師等とス ムーズに共有しより質の高 い医療サービスに

※予防接種についても、厚生労働省において予防接種に係る接種券・予診票等のデジタル化が進められています

【経歴】●八潮市立八條中学校卒業●浦和実業学園高校卒業●東京コミュニケーションアート専門学校卒業●明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科修了MBA(経営学修士)●平成17年八潮市議会議員

ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055
FAX.048-934-7099 E-mail.contact@udagawayukio.com

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099

宇田川ゆきお県議 政治の使命を果たすために全力を尽くす!

巻頭所感

信じられない事故が発生しました。令和7年1月28日八潮市で発生した道路陥没事故です。テレビのニュースでは、突然、道路に穴が空き、トラックが消えた画面が映し出されていました。懸命に救助活動を進めた結果、3か月以上(5月2日)を経て、発見。犠牲になられた方に心から哀悼の誠を捧げます。

【危機管理の共有、広域行政の連携】

今回、想定外の水流・ガス・地崩れへの対応などで困難を極めたことは、あらためて都市の安全確保の問題点をさらけだしたと言えます。

都市化とともに便利さを追求するためのインフラ整備が進み、特にライフラインの確保が最優先とされてきました。その反面で生活者の安全・安心の確保に目が届かなくなってきたというような傾向になってきているのが気になります。

政治とは「決めること」だと定義されています。住みよいまちづくりを掲げて、宅地開発やマンション建設などを推進し、全体的な住環境整備を決めて実行する過程でも、この政治の役割は重要だと言われています。決めた施策を着実に実行していくには地域社会の人々が市政に納得することになります。

この納得の中核にあるものは市民の安全・安心の担保です。これはインフラ整備とともに政治の使命そのものです。地域社会は、それぞれの自治体があり、それぞれの施策を掲げて独立した都市経営を行っています。単独で無理な行政課題は複数の自治体が協力して解決を目指します。ゴミ、消防、上下水道などがありますが、これらはそれぞれの自治体が必要な範囲で負担を持ち合うことになります。八潮市内に敷設された公

共下水道の本管、送電線の鉄塔、中川・綾瀬川など他の自治体の弱点を分かち合う構造物や水系が存在します。

地方自治を推進するために市・区・町・村を設けたことは、各自治体が危機管理を共有していかなければならず、国や県は、総合的な調整機能を発揮しなければなりません。ここでも「政治の存在」すなわち「決めること」の使命・理念が再認識されます。

私は、事故の分析・再発防止と復興・市民生活への影響などを勘案し、責任に応じた対応を知事に求めていく所存です。この事故で全国的に知られた八潮市を「安全・安心・快適」なまちへ前進させるために全力で八潮市を主張してまいります。

埼玉県議会議員 宇田川幸夫



八潮 道路陥没事故

被害に遭われた方々に
衷心よりお見舞い申し上げます。

関連記事は
2.3面を
ご覧下さい



宇田川ゆきお、県のため、八潮のために取り組みます。 令和7年度予算のポイントを解説

令和7年1月28日に発生した
八潮市道路陥没事故に緊急対応！

救助・復旧・支援に全力を尽くします

- 1月29日には自由民主党議員団が大山忍市長とともに大野知事に緊急要望書を提出
- 原状回復に向けた復旧工事の実施に40億円の予算措置
- 補正予算を編成し50億円規模の補正編成
- 国へ意見書を提出
- さらに、大野知事に被災者・被災企業への支援に関する要望書を提出

運転手の方の安全を祈念申し上げておりますとともに消防をはじめ救助復旧に不眠不休で対応に当たって頂いたすべての方に心より敬意と感謝を申し上げます。また、周辺にお住まいの方々には避難等によりご不便をおかけいたしました。八潮市をはじめとする住民の皆様にも節水のご協力を頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。

現在もなお救助活動に当たられている方への感謝と周辺道路においては通行止め等ご不便をおかけしておりますが、引き続き、ご理解とご協力を賜れば幸いです。

埼玉県議会自由民主党議員団（団長 田村琢実県議）は、大山忍八潮市長とともに、大野知事に1月29日に緊急要望を提出いたしました。今後も大山市長と連携を更に密にして引き続き対応にあたってまいります。

道路陥没の事故の応急復旧後の復旧工事、破損した下水道管の復旧工事、陥没した道路の復旧工事について令和6年度の既定予算も活用し、また、3月18日に閣議決定しました国の予備費を活用して追加の工事を実施するための補正予算が編成されました。原状回復に向けた復旧工事の実施に令和7年度は40億円の予算がつきました。令和7年度中の完了を目指します。

（令和7年3月30日・記）

埼玉県への要望（1月29日）

道路陥没についての緊急要望

1月28日、八潮市中央の道路が陥没しトラックが落下する事故が発生した。現場は市役所から300メートルほどの交差点で報道によれば直径9メートル、深さ5メートルほどと非常に危険な状態である。現在、救助活動が続いているが人命を最優先に考え対応いただきたい。

また、陥没被害が拡大する恐れも報じられている。2次災害が発生しないよう、周辺にお住いの方々の安全を十分に確保していただきたい。知事会見では令和3年度下水道局が行った管渠の検査では老朽化度Bランクという判定がされていた箇所のことであるが、数年で急激に腐食が進み今回の事故の原因となったものと推測される。

埼玉県議会自由民主党議員団としては、道路の利用者である県民が安心して通行できる道路環境、下水道の維持管理体制を構築するために、下記の事項を早期に実施するよう強く要望する。

- ①人命救助を最優先で対応を進めること。その後原因を速やかに特定するとともに、県内に同様に危険な箇所がないか、悉皆的に緊急点検を行うこと。
- ②事故現場周辺の速やかな安全確保、復旧作業及び二次被害の発生防止に努めること。



埼玉県議会自由民主党議員団、大山忍・八潮市長と、大野知事に緊急要望（1月29日）

宇田川ゆきお、県のため、八潮のために取り組みます。

令和7年2月定例会は2月19日（水）から3月27日（木）まで行なわれ、令和7年度予算を可決・成立し、閉幕しました。また、私たちの地元・八潮市の道路陥没事故の対応も緊急議題として取り上げました。

国への要望（3月27日）

八潮市中央一丁目交差点陥没事故について被災者・被災企業への支援に関する要望

災害救助法の適用に加え、国にて復旧事業費が予備費により措置され、人命救助に向けての取組みが本格化しているところであります。しかしながら、被災者・被災企業への支援は進まず、事故現場周辺の皆様は、通常の生活に戻ることが出来ない状況にあります。人命救助に向けた工事と並行して原因究明を進めているところですが、被災から2ヶ月が経過しており、支援は一刻の猶予も無い段階にあると考えます。

今後は、原因究明を急ぐとともに、財政支援や補償など、被災者・被災企業への支援を本格化して頂くことを切にお願いし、以下の事項について要望します。

- ①被災者・被災企業に対し、徹底した聞き取り調査をおこない、その上で、被災者の不安や被災企業に寄り添った対応をすること。その中で補償や財政支援等を検討すること。
- ②八潮市商工会や八潮市役所等に寄せられた課題について、県と市で情報共有をはかり誠実に対応すること。
- ③自主的に避難されている被災者の方々への情報共有や相談対応について、特に避難困難者について、充実をはかること。
- ④今現在、被災地においては、仮設にて複雑な配水の切り回しをしているため、断水の恐れがあることから、事故に伴い必要となる水道に関する工事全般については、県が主体となって進めること。
- ⑤今後、原因究明に時間を要する場合、前倒して、被災者・被災企業を救済できるよう検討すること。



以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

宇田川ゆきお、県のため、八潮のために 取り組みます。令和7年度予算のポイントを解説

令和7年度予算成立 2兆2308億9000万円

一般会計予算は、2兆2308億9000万円となり過去最高のもととなりました。激甚化する自然災害への対応や少子高齢化社会への対応等まさにわが国に迫れている課題に対して、埼玉県が先頭に立って対策が講ぜられるように、私たち自由民主党県議団が主導して予算の成立にあたってまいりました。

また、私たちは、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を提出し、全会一致で可決されました。

◆
附帯決議は……

- ①順天堂大学医学部附属病院の撤退に伴い、県内の医師確保対策は急務であるため、奨学金制度や医療機関への支援の充実に努めること。
- ②もうかる農業の実現のため、農業技術研究センターの業務の効率化を図り、研究成果をより発揮できるよう、ソフト・ハード面の充実を図ること。
- ③高校授業料無償化に対応するため、今後の県立学校の魅力向上を含めた在り方の検討を行うこと。
- ④県庁舎の建替えについては、令和7年度の中に場所の選定を行うとともに、選定されなかった候補地の利活用を含めた議論を行うこと。



自民党県議団による、事業の適切な対応を求める附帯決議が全会一致で可決

⑤人材流出と人材不足が顕著な、保育士・幼稚園教諭・児童養護施設職員・介護士・看護師等について、更なる待遇改善を講じること。

⑥障害児者等に対して歯科診療を行う埼玉県歯科医師会口腔保健センターについて、施設の更新と運営費補助の在り方について、他の公設5施設との整合性や公平性を考慮した支出に改めるよう努めること。

⑦教職員の駐車場負担について、勤務校による不公平が生じないよう、統一的な基準を早急に検討し、公平性を確保すること。

◆
執行部と両輪となって、挑むべき課題に対して、我々自由民主党県議団は果敢に取組み、政策を前へ前へと進めております。

ライフワークとして取り組んできた「こども政策」や「地元八潮について」、フトワークを活かし関係各所と連携し予算措置を獲得することができました。これも自らの経験と地元を歩き皆様の声を伺いながら、皆様の声をかたちにできた結果と捉えています。皆様の声を結果に示す、県議として議席をお預かりする者の責務と矜持と考えています。

八潮南部西地区の整備として 17億4273万3000円の予算措置

道路・調節池の整備、宅地の造成工事、建物物件の移転補償など

昨年(令和6年)3月16日のダイヤ改正により、つくばエクスプレス快速停車駅となった「八潮」。利便性、都心への速達性がより充実するとともに、駅高架下のTXアベニューをリニューアルするなど八潮駅の魅力は増しています。

そこで、八潮駅周辺地域において、都市基礎整備と良好な住宅

地の供給を図り、「活力と魅力あるまちづくり」を推進するため、施行面積99.1ヘクタールの土地区画整理事業を実施します。

主な事業内容は、道路・調節池の整備工事、宅地の造成工事、建物物件の移転補償、保留地の販売です。



整備前



整備後



都市計画道路の整備



公園の整備

特別支援学校の整備

八潮市内に障がいのある児童生徒
250名受け入れ予定

障がいのある児童生徒の「学習上、生活上の困難を克服し、自立に必要な知識技能の授与」を目的とした特別支援学校の充実を重視し、要望してきました。

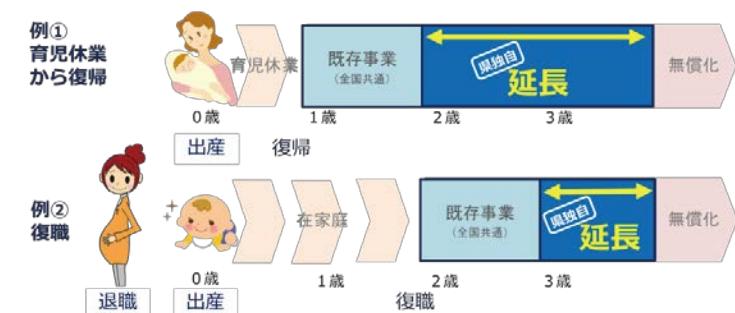
今回の予算で「県東部地域特別支援学校(仮称)」の予算措置が実現しました。受入れ人員は250名を予定しており、八潮市内で開校する見込みです。

保育士確保へ向けた取組み

保育士の方の待遇改善、復帰・復職サポートなど

新 保育士の復帰・復職のサポート

- 保育士が子どもを預ける際の保育料を半額支援
- 支援期間を保育料無償化となる3歳児まで延長



保育士の確保は喫緊の課題のひとつです。子どもの成長に欠くことのできない存在である保育士の方々の待遇改善、保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的な取組の推進のために、442億4943万7000円の予算措置がなされました。新卒保育士の方の就職支援として、就職準備金貸付の拡充をし、新たに30万円コースを創設し県からの転居に10万円加算します。

また、保育士の方の復帰・復職サポートとして、保育士の方が子どもを預ける際の保育料を半額支援します。また、支援期間を保育料無償化となる3歳児まで延長します。

経済成長へ向け「渋沢MIX（しぶさわミックス）」におけるイノベーションの創出

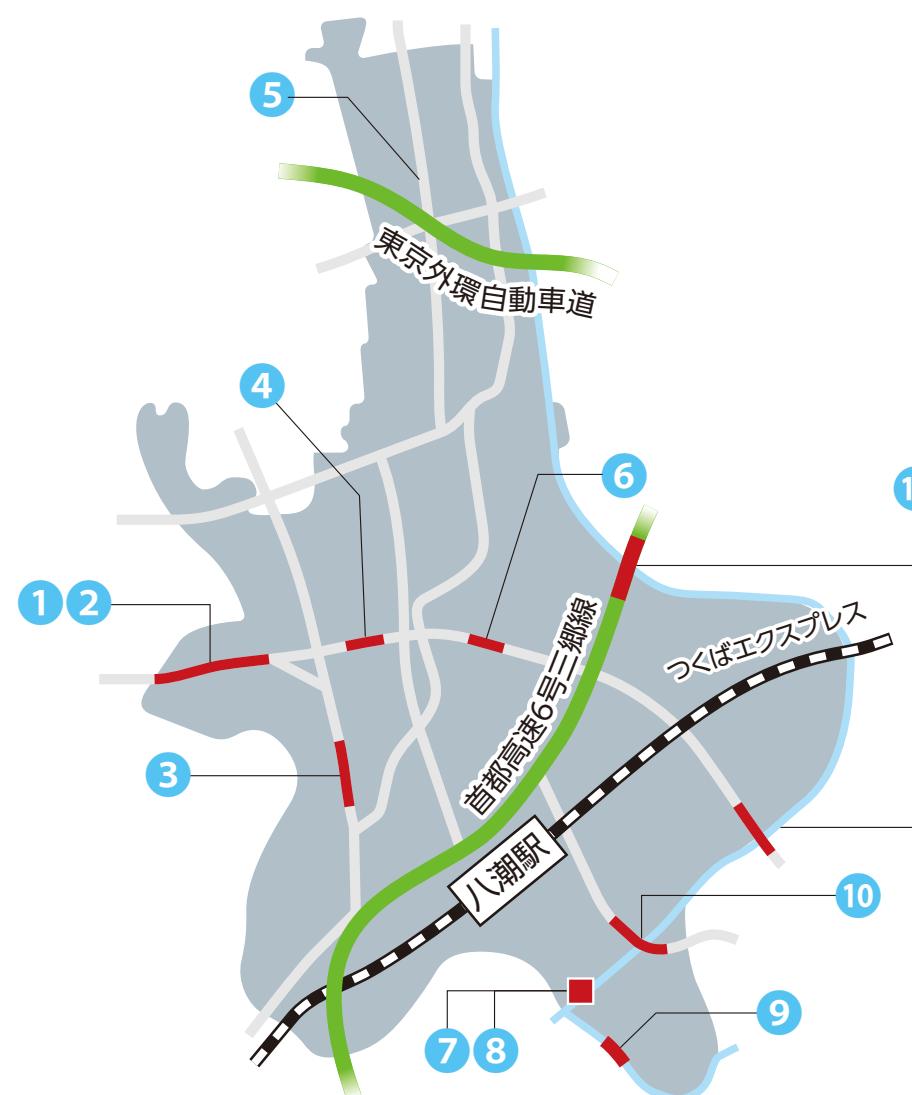
3つのコンセプトで事業を推進、本年7月に拠点の開設を目指す



本施設では、「オープンイノベーションの創出・促進」「スタートアップの創出・成長支援」「イノベーションを担う人材の育成」の3つのコンセプトに、イノベーション創出のための様々な取組を展開していきます。

令和7年度・八潮市の主な関連事業のご報告

今年度の八潮市関連予算が決定しました。道路・橋梁整備、浸水被害予防などインフラ整備は安心・安全な暮らし、八潮市の未来のまちづくりのためにも重要です。宇田川ゆきおは、今後もしっかりサポートしてまいります。



①② 松戸草加線（22メートル道路）：舗装整備費

八潮市内より草加を抜け川口に向かう広域的な幹線ネットワークを整備することにより地域の交流や経済活動を支えるとともに、歩道の新規設置または拡幅整備により歩行者の安全な通行を実現するよう進めてまいります。事故の軽減を図り、さらには交通渋滞の緩和による排出ガスの軽減により安心安全で人にも環境にもやさしい道路整備を進めてまいります。



③ 越谷草加線（産業道路）：歩道整備

産業道路と八潮の皆さんには親しまれている越谷八潮線。段差のない歩道の整備などにより、子どもから高齢者まで誰もが安全かつ安心に歩くことができる歩行空間を確保するために歩道の段差解消等の整備を行います。



④ 松戸草加線（22メートル道路）：舗装整備費

産業道路と八潮の皆さんには親しまれている越谷八潮線。段差のない歩道の整備などにより、子どもから高齢者まで誰もが安全かつ安心に歩くことのできる歩行空間を確保するために歩道の段差解消等の整備を行います。



宇田川ゆきおが着実にサポート!



⑤ 平方東京線：舗装整備費

越谷レイクタウン方面へとつなぐ、平方東京線。ショッピングや物流拠点への重要路線です。これからも安全に安心してご利用いただくために八條北小学校付近において舗装整備費がつきました。



⑥ 松戸草加線（22メートル道路）：交差点整備費

22メートル道路として皆様に親しまれている松戸草加線。八潮市内の皆様にとって生活に欠くことのできない重要路線です。また、近隣への移動や物流の大動脈を支える重要路線です。中央一丁目付近において、皆様が安全に安心して利用されるよう整備を行います。



⑦⑧ 堀川排水機場：耐震化補強工、ポンプ設備更新

県河川構造物である排水機場の耐震性能照査に基づく耐震補強工事を実施します。また、排水機場を適宜、適切に維持管理・更新していくために計画的に整備を実施し、ポンプ設備更新をし洪水時の浸水被害を軽減させます。川に囲まれた八潮の皆さまの生命、財産、生活を守るために、耐震、整備を進めてまいります。



⑨ 大場川：水辺河川改修費

大場川マリーナなど風光明媚で多くの方に親しまれている大場川について、水辺の河川改修費がつきました。



⑩ 潮止橋：橋りょう整備事業費

三郷方面へ向かう交通量の多い潮止橋は、昭和31年7月に竣工した橋です。架橋してから長きに亘り、皆さんに利用されてきました。歩行者及び自動車交通の安全で円滑な道路交通を確保するための橋りょう整備事業費がつきました。八潮のシンボルのひとつでもある潮止橋がこれからも安全で安心してみなさまに利用されることにより、豊かな地域形成への裨益が見込まれます。



⑪ 新中川橋、共和橋：橋りょう修繕費

三郷市へとつなぎ、交通量が大変多い新中川橋、共和橋について橋りょう修繕費がつきました。

